

Air Safe.[®]

タイヤ空気圧モニタリングシステム
TPMS (Tire Pressure Monitoring System)

空気圧センサー「Air Safe」のご紹介

2016年度 JAFロードサービス主な出動理由

■ 一般道路

1位：バッテリーあがり

2位：タイヤのパンク、バースト、空気圧不足

3位：キー閉じ込み

■ 高速道路

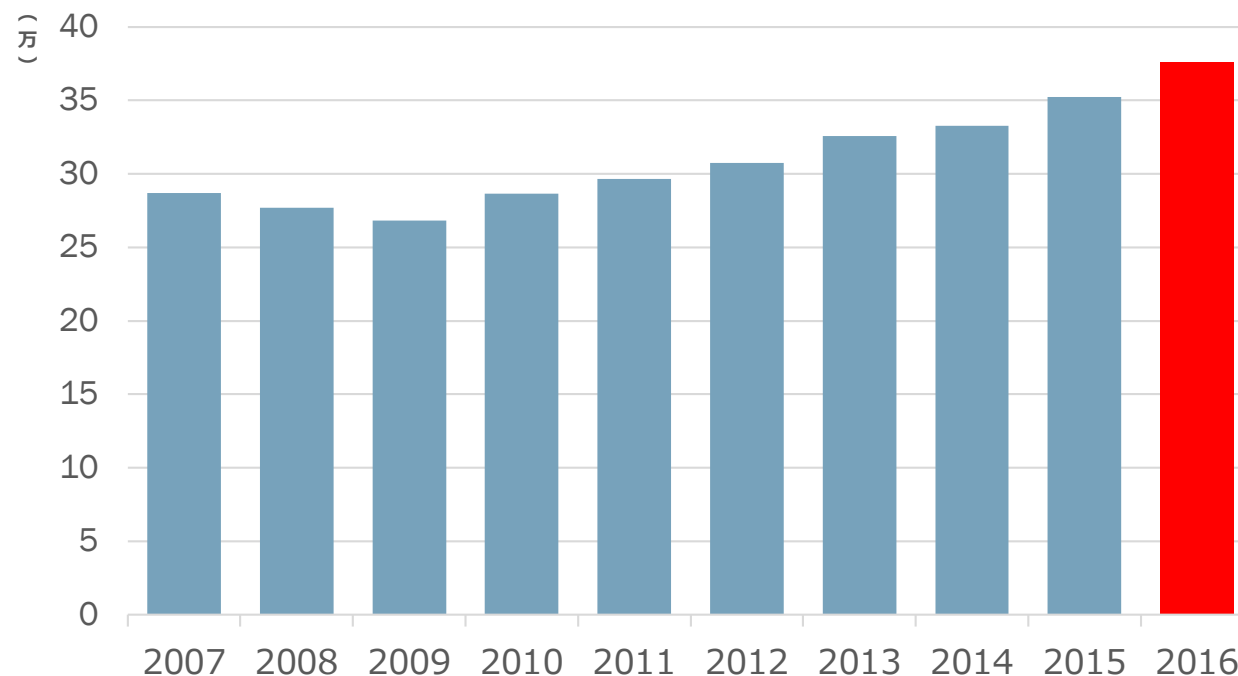
1位：タイヤのパンク、バースト、空気圧不足

2位：バッテリーあがり

3位：キー閉じ込み

なぜ今、TPMSなのか？

JAFへのタイヤトラブル救援件数



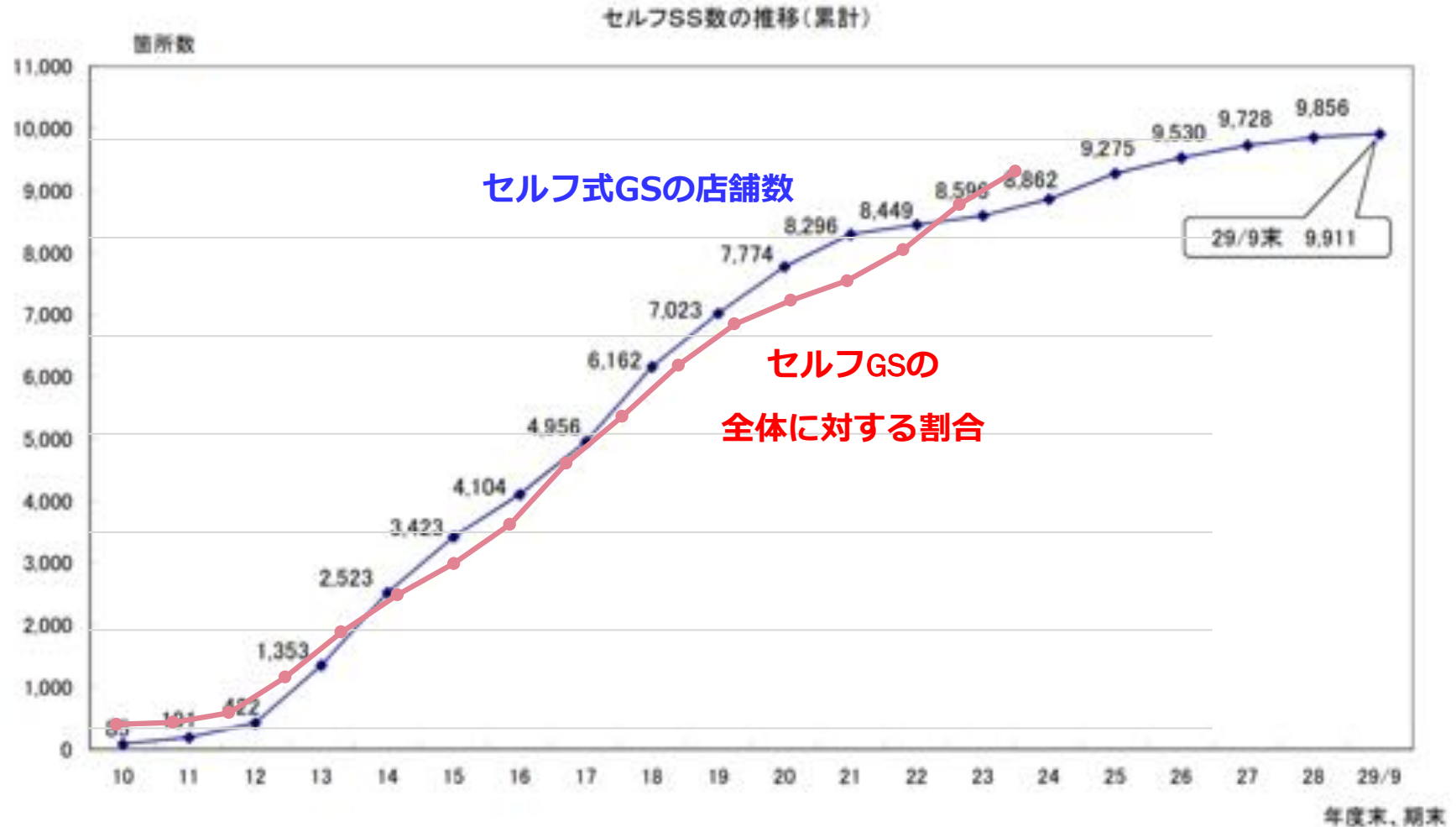
出典：JAFロードサービス救援データ（2016）

2009年度 約27万5000件 → 2016年度 約37万6000件に増加

JAFへのパンク救援数が過去最多を記録！

なぜ今、TPMSなのか？

セルフ式ガソリンスタンド数の推移



出典：石油情報センター「セルフSS出店状況」
経済産業省

セルフ式GSの割合は、年々増加傾向にある

「約50%の車が空気圧不足」

2016年日本自動車タイヤ協会が実施した無料タイヤ点検調査による

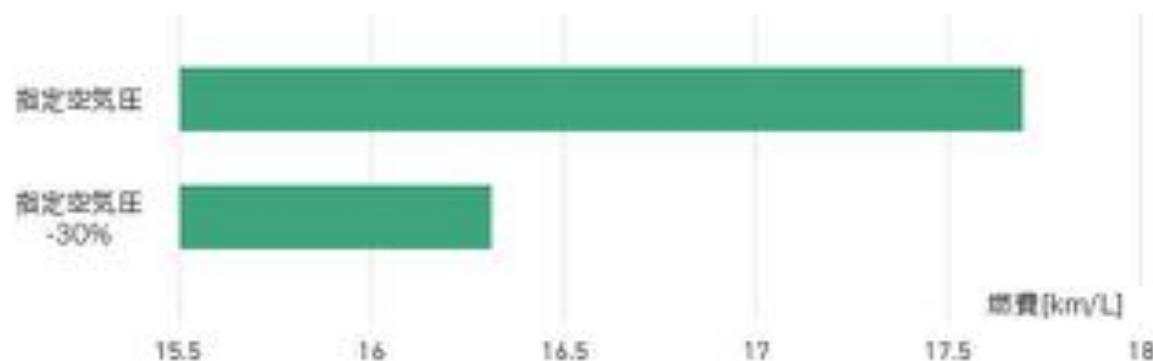
※九州道（下り）基山PAでの調査

セルフ式GSの増加により、専門知識を持ったGSスタッフに
タイヤの空気圧を点検してもらう機会が減ったのではないか？
とされている。



「空気圧不足」が引き起こすこと

- 1) 操縦性の悪化
- 2) タイヤ寿命の短縮（偏摩耗など）
- 3) 燃費の悪化



指定空気圧から30%低下した状態で走行すると、適正值での走行に比べて**8.5%も燃費が悪化**

120円/ℓ → 約141円/ℓ

4) パンク

ドライブの予定が
台無し

レッカー救援費用など
急な出費

傷んだタイヤの
交換費用

5) 走行中のバースト

①見た目でわかりにくい！



②空気圧は勝手に抜ける！

最大の原因：「自然空気漏れ」

ゴムは空気を通すので自然と空気圧が下がってしまう。

乗用車のタイヤは概ね1カ月で5～10%低下し、乗用車の5台に1台は空気圧不足で走行していると考えられている。

タイヤ空気圧モニタリングシステム

TPMS (Tire Pressure Monitoring System) の登場



※写真：アルミホイール専用 AS-CV1 クランプインタイプセンサー

TPMSは米国（2007年義務化）だけでなく、
2012年には欧州にて、
2013年には韓国でも義務化されている。
こうした国へ輸出される日本車もTPMSを標準装備している。
※日本、中国では法規制を検討中



日本でも今後義務化の方向へ…

2017年誕生



アルミホイール専用
AS-CV1 クランプインタイプ
メーカー希望小売価格
36,800円 税抜



スチールホイール・軽自動車専用
AS-SV1 スナップインタイプ
メーカー希望小売価格
32,800円 税抜

Air Safe.®

タイヤ空気圧モニタリングシステム
TPMS (Tire Pressure Monitoring System)



特徴①：タイヤモニター機能

車内に装着するレシーバー(表示部)に、空気圧とタイヤ内温度をワイヤレス通信でリアルタイムに表示するため、毎回車外に出て空気圧計を使用しての空気圧点検の手間を省ける！

特徴②：アラーム機能

空気圧とタイヤ内温度の異常を検知すると、アラーム音と点滅表示で警告を発する。特にドライバーが気付きにくくトラブルに発展しやすいスローパンクチャー(ゆっくりと空気が抜けるパンク)も見逃さない。

特徴③：正確なモニタリング性能

日本国内の電波法をクリアする315MHzの周波数。取り付けはタイヤショップなどに頼むことになるが、センサーは4輪それぞれタイヤホイールのエアバルブと共にタイヤ内側に装着するため、正確な空気圧と温度をモニターできる。

内臓タイプ



エアバルブと一体化しており
ホイール内部に装着するタイプ

メリット：精度が高い

デメリット：比較的高価、
プロでないと装着できない

バルブキャップセンサー タイプ



エアバルブキャップとして装着す
るタイプ

メリット：装着が手軽、比較的安価

デメリット：輸入品が多い、
(周波数が米国仕様)
衝撃に弱い

他製品との相違点

	Air Safe	他社製品
取付	「内臓タイプ」 内部に埋め込まれているため、外部からの衝撃による破損や故障がない。着脱は専門店で行う。	「バルブキャップセンサータイプ」 着脱は簡易にできるが、外部にむき出しの状態になる。空気を入れる度に着脱をする。
バッテリー	自動車メーカー品と同様に交換不可。約5年の寿命後はセンサーごと交換する。	ボタン電池式。数ヶ月～1年ほどの寿命。
表示	空気圧と温度の数値が同時に表示可能。 小数点2桁まで表示できる。自発行液晶文字でバックライトが点灯するため夜でも見やすい。	スイッチで画面を切り替えるタイプが多く、ページごとに表示されるため、文字を大きく表示できる。
性能	エンジン始動と同時に自動で起動する。装着設定完了後はスイッチ操作などが不要。 異常なタイヤがリアルタイム、ひと目でわかる。	使用しない際はスイッチを切ることができる。小数点2桁まで表示できるものはない。
開発	日産、ホンダ、GMのOEMメーカーとして日本初。	OEMメーカーで請けている製品はほとんどない。
法律	日本国内の電波法に準拠。	国内の電波法に準拠していない433MHz帯のものが多く出回っている。
耐久性	マイナス40℃まで動作保証。埋め込み式のためブレーキ熱を受けにくい。	最高マイナス30℃の動作保証。
センサー検出範囲	最高900kPaまで可能	インナーセンサータイプでは508kPaが最高。
受信性能	安定受信する新開発の高感度アンテナを内蔵。	電源ケーブルをアンテナ代わりにするなどして受信感を確保。

メリット①：義務化への準備

TPMSはすでに、米国・欧州・韓国では法律により義務化されている。日本においても、今後義務化が予想され、その際にスムーズに対応が可能になる。

メリット②：先行者メリット

日本ではTPMSの市場がまだ出来上がっていないため、今の時点から参入することにより、先行者メリットを享受できる可能性が高い。

メリット③：お客様へプラスαの付加価値提供

消費者の興味関心が非常に高い、「安心」を付加価値として提供することにより、顧客満足度の向上にもつながる。

メリット④：プラスαの収益を見込める

既存の製品と全くバッティングしないため、純粋に収益向上につながる。

千葉県茂原市六ツ野1850-1

金丸タイヤ株式会社 様



— 装着手順や工程はスムーズでしたか？

装着作業は簡単でした

— 使用感はどうですか？車載モニターは見やすいですか？

使用に関しては問題なく、モニターもコンパクトで見やすいです

— 皆さまにおすすめしたいポイントはどこですか？（複数回答可）

おすすめポイントは＜安全性＞です

— お客様へのおすすめポイントをお願いします

タイヤの空気圧点検は安全に走行するためにとても重要です。

運転するたびに毎回点検するのは大変です。

エアセーフはその手間がなくなり、走行中の突然の異変も知らせてくれますので、事故に繋がる前に対処できるかと思います。

岐阜県岐阜市都通5-11

株式会社岐陽ピーエス 様



— 装着手順や工程はスムーズでしたか？

弊社はTPMS月の車両のタイヤ交換は手慣れていますのでスムーズに装着できました。

— 使用感はどうですか？車載モニターは見やすいですか？

使用感については精度もよくありがたいです。日中の明るい時間は若干モニター画面が暗く、フードを工夫しえっ取り付けました。

— お客さまにおすすめしたいポイントはどこですか？（複数回答可）

性能、価格、デザイン共に良好です。

特に空気圧のみならず、温度表示もGOODです。

— お客様へのおすすめポイントをお願いします

特に超扁平タイヤを使用している車両は、パンク時の空気圧低下に気付くのが遅れたために発生するタイヤブリーディングによる破損の防止ができ、非常に有効です。

また走行中でも空気圧温度の管理ができ、非常に安全です。

ありがとうございました。今後とも宜しくお願いします。

東京都豊島区池袋本町2-1-2

有限会社タイヤショップ池袋 様



— 装着手順や工程はスムーズでしたか？

簡単に取付けできました。取説もわかりやすいです。

— 使用感はどうですか？車載モニターは見やすいですか？

モニターの見やすさは置く場所にもよりますが、特に問題ないと思います。

センサーの感度や正確性は良いとおもいます。ローテーションもしましたが取説通りの設定方法で簡単に操作できました。

— お客さまにおすすめしたいポイントはどこですか？（複数回答可）

まず装着の手軽さ、デザイン性、基本操作の簡単な面
<性能>・<価格>・<デザイン>・<安全性>

— お客様へのおすすめポイントをお願いします

タイヤに今起きている状況、温度などの上昇はリアルタイムでわかるところ。
それによってタイヤの性能などの違いも意識して頂けると思う。

埼玉県川越市新宿町5-16-17

株式会社相広タイヤ商会 様



— 装着手順や工程はスムーズでしたか？

装着はスムーズに行えました。
説明書が親切でわかりやすく特に問題はありませんでした。

基本的に空気圧センサーとしては
よくある取り付け方法ですので迷うことはありません。

モニターは台座の吸盤が良くきくので設置が非常に楽でした。
配線のコードも長いので取り回しにも苦労しない点が良いですね。

一点不足があるとすれば、TPMS本体とバルブ部分を つなぐネジがトルクスネジですので 対応している簡単なドライバー（六角レンチの
ような）が 付属していると良いかと思います。

お店や個人によってはトルクスドライバーを 持っていないこと十分あり得ると思います。
そうすると少々不便を感じそうです。

—使用感はどうか？車載モニターは見やすいですか？

使用感もとても良いです。
日中の外が明るい時間帯でもモニターは見やすくはっきりと映ります。

走行してタイヤがあたたまってくると
それに比例してタイヤの空気圧も高くなるのがわかり、しっかりとモニタリングできている実感があります。

センサー自体は外観からは通常のバルブとほとんどかわりませんので 特段気になるということはありません。
むしろゴムのバルブよりも高級感があって良いですね。

—お客さまにおすすめしたいポイントはどこですか？（複数回答可）

性能 価格 デザイン

—お客様へのおすすめポイントをお願いします

今まで複数のTPMSを装着したことがありますが、こちらの商品は他の商品と比べても実用性が高いと感じました。
空気圧は1kps単位で表示してくれるようなので 正確性においても信頼がもてます。
（他の製品では2kps刻みでの表示のものもありました。）

またモニター自体はシンプルかつ高級感がありますので
どんな車に設置してもインテリアを邪魔せず調和してくれると思います。

タイヤの空気圧はこまめな管理が必要です。
空気が不足するとそれだけバーストの危険も高まりますし 車本来の性能も出せません。
せっかくエコタイヤを装着していても空気圧不足のため 燃費が良くない状態で走行している車も良く目にします。
これらを未然に防ぐにはこのようなTPMSの装着は非常に有効です。

もちろんバンク時にすぐに気づくことができるという点も 大きなメリットの一つだといえます。
これだけの機能や質感を備えてこの価格であれば コストパフォーマンスも良いですね。
総合的に見て非常にオススメできる商品でした。

メディア掲載

◆TV

NO	月	日	媒体名	媒体社	タイトル	URL
1	4	9	マチコミ！	テレビ埼玉	安全ドライブに画期的システム登場！！	3:45

◆新聞・雑誌

NO	月	日	媒体名	媒体社	タイトル	URL
1	4	4	自動車タイヤ新聞	自動車春秋社	TPMSの重要性をPR	二

◆WEB

NO	月	日	媒体名	媒体社	タイトル	URL
1	3	30	オートカー	ACQマガジンス	AirSafe (エアセーフ) タイヤを見守る空気圧モニタリング・システム	http://www.autocar.jp/news/2013/03/30/20130330_001/
2	3	30	Carview!	カービュー	AirSafe (エアセーフ) タイヤを見守る空気圧モニタリング・システム	http://www.carview.jp/news/2013/03/30/20130330_001/
3	3	30	livedoorニュース	LINE	AirSafe (エアセーフ) タイヤを見守る空気圧モニタリング・システム	http://news.livedoor.com/article/detail/14556434/
4	3	30	antenna	グライダー・アソシエイツ	AirSafe (エアセーフ) タイヤを見守る空気圧モニタリング・システム	https://antenna.jp/articles/6372593
5	4	4	自動タイヤ新聞	自動車春秋社	バスクの「Air Safe」TPMSの重要性をPR	http://www.jti-news.co.jp/news/12104/
6	4	4	ガジェット通信	東京産業新聞社	「Air Safe」TPMSの重要性をPR	http://getnews.jp/archives/20132463
7	4	4	ツイナビ	デジタルカレッジ	「Air Safe」TPMSの重要性をPR	http://twinnabi.jp/news/2013/04/04/2013_04_04_001/
8	4	4	ライブドアニュース	LINE	AirSafe (エアセーフ) タイヤを見守る空気圧モニタリング・システム	http://news.livedoor.com/article/detail/14556434/
9	4	4	Biglobe ニュース	ビッグロブ	AirSafe (エアセーフ) タイヤを見守る空気圧モニタリング・システム	http://news.biglobe.ne.jp/news/2013/04/04/2013_04_04_001/
10	4	4	Yomemio News	GMO	AirSafe (エアセーフ) タイヤを見守る空気圧モニタリング・システム	http://news.yomemio.net/ja/article/2013/04/04/2013_04_04_001/
11	4	4	アメーバニュース	サイバーエージェント	AirSafe (エアセーフ) タイヤを見守る空気圧モニタリング・システム	https://news.amemba.jp/entry/20130404-324/
12	4	4	Infoseekニュース	楽天	AirSafe (エアセーフ) タイヤを見守る空気圧モニタリング・システム	http://news.infoseek.co.jp/article/2013_04_04_001/
13	4	4	ニコニコニュース	ドワンゴ	AirSafe (エアセーフ) タイヤを見守る空気圧モニタリング・システム	http://news.niconico.jp/news/2013/04/04/2013_04_04_001/
14	4	4	ネタリカ	Yahoo!	AirSafe (エアセーフ) タイヤを見守る空気圧モニタリング・システム	http://netariqa.jp/news/2013/04/04/2013_04_04_001/
15	4	4	Maxi ニュース	ミクシィ	AirSafe (エアセーフ) タイヤを見守る空気圧モニタリング・システム	http://news.maxi.jp/news/2013/04/04/2013_04_04_001/
16	4	4	Gunosy	グノシー	AirSafe (エアセーフ) タイヤを見守る空気圧モニタリング・システム	https://gunosy.com/articles/8mcFZ

メディア掲載

[illegible]

YAHOO! ニュース

GW前にチェック！タイヤのパンク・バーストの予兆の見つけ方

4/22(日) 17:31配信



JAFの2017年4月～9月ロードサービス出動件数結果によると、「タイヤのパンク、バースト、エア圧不足」の出動件数は、一般道路では18万9,899件の第2位、高速道路では1万5,678件で第1位となった。

GW中に長距離ドライブを予定している人も多いだろう。ドライブ前の日常点検は欠かせないが、日常点検の項目にも含まれている、タイヤの空気圧については、急なパンクやバーストを起こさないためにもよく確認しておきたい。昨年GW中のJAFのロードサービス出動件数はタイヤのパンク、バーストについては第2位だった。タイヤのパンクやバーストの予兆やタイヤの異変に気付く技を紹介する。

【写真】空気圧を確かめる方法

■タイヤのパンク・バーストは出動件数2位

JAFの2017年4月～9月ロードサービス出動件数結果によると、「タイヤのパンク、バースト、エア圧不足」の出動件数は、一般道路では18万9,899件の第2位、高速道路では1万5,678件で第1位となった。

また、2017年のゴールデンウィーク中の結果も順位は同じで、一般道路で9,143件の第2位、高速道路では905件で第1位となった。

やはり、タイヤのパンクやバーストは他人ごとではないと考えたほうがよさそうだ。



TABIZINE

～人生に熱心な～

4月8日はタイヤの日！GWを安全に楽しく過ごすドライブグッズ4選

Apr 8th, 2018 | sweetscholic

4月8日はタイヤの日。ドライブや車でのお出掛けが楽しいこれからの時期に合わせ、GWを安全に楽しく過ごすアイテムをご紹介します。人気のドライブレコーダー、タブレットホルダー、車内で使えるドライバー、タイヤの空気圧センサーなどどれも要チェックですよ！

■意外な落とし穴！タイヤの空気圧センサー



(C)sweetscholic

バッテリー上がりだけでなく、タイヤの空気圧不足にも注意したいもの。2016年度のJAFロードサービスの主な出動理由を見てみると、高速道路ではタイヤのトラブルが1位、一般道路では2位となっています。タイヤの空気圧が不足すると操縦性の悪化、タイヤの寿命短縮、燃費の悪化、パンク、走行中のバーストなどの原因に。



(C)sweetscholic

タイヤの空気圧は自然と抜けていくものですが、空気圧不足に陥っているかどうかは目では分かりづらいものです。実際に乗用車の5台に1台は空気不足で走行しているというから要注意！タイヤの空気圧モニタリングシステムを設置することで、目視から安全な状態で走行することができますよ。例えば「Air Safe」のシステムは、空気圧とタイヤ内温度をワイヤレス通信でリアルタイムで表示。また、空気圧とタイヤ内温度の異常を感知するとアラーム音で知らせてくれるので安心です。

マイナビ ニュース

powered by LINE NEWS



4月8日はタイヤの日！便利グッズで空気圧をリアルタイムにチェック!!

04.06.12 15:15 マイナビニュース

4月8日は「タイヤの日」であることをご存知だろうか。では、タイヤ空気圧モニタリングシステム、TPMS(Tire Pressure Monitoring System)というものの存在は知っていただろうか。今回は、タイヤの日に先がけて、車内にいながらタイヤの空気圧をリアルタイムに把握することができる、TPMSの次世代ツールを紹介する。



メディア掲載

テレビ埼玉



Air Safe

AUTOCAR JAPAN

AUTOCAR
JAPAN

の空気圧でも斜めに侵入すると思いのほかタイヤが大きく変形する（トップ写真参照）というのが確認できた。より空気圧が減っている状態ではタイヤのバースト、ホイール自体の損傷が容易に想像できる。



Air Safeが一般的に広く使われるようになれば、良い意味で安心感と安全が可視化できることになるのだろう。

Air Safeの価格は下記の通り。

・AS-CV1（クランプインバルブタイプ）：15インチ以上アルミホイール用
3万6800円

タイヤ・トラブル増加傾向 その原因は？

Air Safe（エアセーフ）は、車内にいながらタイヤの空気圧をリアルタイムに確認できる、安全運転サポート製品。

「4月8日＝タイヤの日」を前に、そのAir Safeを販売するバスコ社が、安全啓蒙のセミナーを開催した。



テレビ埼玉



自動車タイヤ新聞

自動車春秋社
AutomotiveTiresNews

CATEGORY

バスコの「Air Safe」TPMSの重要性をPR

2018年4月4日 シェア: カテゴリー: ニュース
タグ: TPMS, 現地レポート

バスコは3月29日、昨年から販売しているTPMS（タイヤ空気圧モニタリングシステム）「Air Safe」（エアセーフ）のメディア向け説明会を埼玉県志木市の本社で実施した。



Air Safeのモニター

ガジェット通信

MENU

ガジェット通信



ながります。



そこで、見た目には分かりにくいタイヤ空気圧の状態をモニタリングするために開発されたのが『Air Safe』。



空気圧センサーをタイヤの内部（バルブ）に装着することで、空気圧データを車内のモニターへリアルタイムに送信。取り付けは専門業者に頼む必要がありますが、その後は空気圧計で定期的に点検するという手間を省くことができます。